

令和3年度 学校運営協議会(ひらようコミュニティースクール)の報告

平塚養護学校 学校運営協議会事務局

♣ 第1回 学校運営協議会 ♣

1 日 時 令和3年6月25日(金)9時30分～11時30分

2 場 所 平塚養護学校校長室及び保護者控室(耐震工事仮設校舎)

3 開催形態 校内2室と校外参加委員をリモートで結んでの開催

4 出 席 委員7名(内リモート参加3名)、事務局・校内提案者7名

5 内 容

① 学校長より、令和3年度の重点目標について

- ・ 共生社会を目指して
- ・ 持続可能で組織的な学校運営を目指して など

② 学校評価部会

令和3年度の主な目標設定について提案し承認をうける

令和3年度の学校運営の主な目標について、学校評価報告書の様式に沿って説明

- ・ 平塚養護学校で取り組んできた教育活動をカリキュラムマネジメントの視点で整理
- ・ エビデンスに基づいた指導、個別教育計画の有効活用
- ・ 教育研究の推進、地域連携や新たなセンター的機能の推進、実践的な防災対策等

③ 切れ目ない支援部会

切れ目ない支援部会の今年度の活動について

部会の活動の主旨や今後の展望についての説明

④ 共生社会を目指した、2つの取り組みについての話題提供

ア 金目小学校との人的交流についての研究

○ 令和3年度から取り組む人的交流の研究について説明

- ・ 共生社会を見通したインクルーシブな学校づくりのための研究
- ・ 次年度から2年間、3名の教員を派遣し、小学校の教員とともに2年間、学校運営や教育活動にあたり、互いの強みを生かすことでインクルーシブな学校づくりを目指す
- ・ 今年度は1名の総括教諭が適時小学校に訪問し、小学校の教員とともに研究の基礎づくりをおこなう

イ 地域における学習活動の推進について

地域開拓班と学部との連携による取り組み

- ・ 地域における教育活動の状況
- ・ 今年度の展望等について

※これらの話題提供について、平塚養護学校で今年度取り組む計画等として示すことはできたが、委員から意見・助言を聞いたところ、人的交流の研究やその他の部会の内容についても、校外の委員から、「なぜ取り組むのか」、「取り組むことになった根拠は何か」、「何をやりたいのか」、「いつごろまでにどのようにしたいのか」、などがとてもわかりにくいということであり、話が深まるまでには至らず、課題となった。

また、地域活動については、学校で抱え込むのではなく、学校外の人材も入れたオフ会のような組織をつくって取り組みをすすめることが良く、オフ会のような実効性を高める組織づくりが必要との意見をいただいた。

♣ 第2回 学校運営協議会 ♣

1 日時 令和3年11月16日(火) 9時30分～11時30分

2 場所 平塚養護学校校長室及び保護者控室(耐震工事仮設校舎)

3 開催形態 校内2室と校外参加委員をリモートで結んでの開催

4 出席 委員6名(内リモート参加3名)、事務局・校内提案者7名

5 内容

① 学校長より

OriHime を活用しての授業実践の報告やインクルーシブ教育の推進について

② 学校評価部会

令和3年度、学校評価の中間評価について、提案し承認を受ける

- ・ 前期が終わった時点での取り組みの進捗状況など

※ 委員からは、何がどのくらい達成できたのかなど、具体的にわかりやすく示す必要があるなどの意見が出された。

③ 切れ目ない支援部会について

- ・ 部会の進捗状況の報告
- ・ インクルーシブ教育実践推進校とは何か など

④ 第1回と同様、2つの取り組みについて話題提供

ア 金目小学校との人的交流についての研究

- ・ 総括教諭が、小学校の学校運営や教員の取り組みを見たり、ともに活動したりして得たもの
- ・ パートナーシップの発想でともに、互いに考え実践することが大切であること
- ・ 平塚養護学校内でのインクルプロジェクトの組織化
- ・ 小学校を会場にしてのインクルフォーラムの計画

イ 地域での学習活動について

- ・ 公園の清掃、公道でのプランタ整備、企業に出向いての学習活動についての報告

※ 小学校との研究や地域活動の進捗について、一定の評価と理解を得られたが、まだ説明や学校運営協議会としての今後の展望など、見えにくいことが多々あり、協議会としての協働といった議論には、ならなかった。

地域との協働による取り組みについては、青年会議所の協働やオフ会の実施など、やはり有効である。

♣ 第3回 学校運営協議会 ♣

- 1 日 時 令和4年3月8日(金) 9時 30 分～11 時 30 分
- 2 場 所 平塚養護学校校長室及び会議室(本館)
- 3 開催形態 校内2室と校外参加委員をリモートで結んでの開催
- 4 出 席 委員7名(内リモート参加2名)、事務局・校内提案者6名
- 5 内 容

① 学校評価部会

令和3年度、学校評価の年間評価について、提案し承認を受ける

・ 今年度の主な取り組みについての評価

※ 委員からは、何がどのくらい達成できたのかなど、具体的にわかりやすく示す必要があるなどの意見が出された。

地域活動や居住地交流についての質問も出され、また、教員の専門性とは何かを含め、学校の様子がコロナ禍もあり、まだ、見えにくいところが多いことや、学校も発信の工夫が必要であることなどが指摘された。

② 切れ目ない支援部会について

- ・ 進捗状況と今年度の取り組みのまとめ
- ・ インクルーシブ教育実践推進校の教員を招いての部会等について

③ 平塚市等の特別支援学校のコミュニティスクール導入に対する提案(副会長より)

市内に4校・4障害種の特別支援学校がある平塚市の特性を活かし、地域の方々や地域の企業等との連携による取り組み

地域協働推進本部の設置や地域コーディネータの位置づけによる取り組みの組織化
共生社会の推進のために、学校の教育の質を高めながら推進する

※ この提案について、4校も前向きであり、取り組みの開始に向けた理解を出席者全員から得ることができた。まず、次年度は組織づくりから始める。

参加するそれぞれの組織の思惑や利害にとらわれすぎることなく、教育の質を高め維持するための舵取りが容易ではないが、このようなマネジメントが重要であるとの意見が出された。次年度に向け、具体的な学校運営協議会との協働した取り組みが見えてきた。